

ゾーニング(施設内の区域管理)

ゾーニング(区域管理)とは

ふん便やおう吐物进行处理するトイレ・汚物処理室等は、ノロウイルスなどの病原体に汚染されやすい場所です。一方、食べ物や飲み物を扱う所等は常に清潔にしておく必要がある場所です。

施設内を汚染・清潔の区域に分け、職員の衛生管理に対する意識を統一して感染対策を行うことをゾーニング(区域管理)と言います。

ゾーニングを行い、効果的な感染対策を行いましょう。



ゾーニング(区域管理)例

区域	清潔区域	汚染区域
施設内の例	調理室、給湯室、リネン室、サービスステーション等	トイレ、汚物処理室、洗濯室、ゴミ置き場等
各区域での感染対策注意事項	① <u>部屋に入る際は手洗いを行う</u> ② <u>清潔な服装で作業する</u> (オムツ交換・トイレ掃除などで使用したエプロンで入らない) ③ <u>汚れている物(オムツ交換をしたエプロンなど)を持ち込まない</u> ④ <u>清潔区域にある物は、区域外へは持ち出さない</u>	① <u>清潔な物は持ち込まない</u> (汚物処理室に未使用の手拭き、テーブル拭き・仏ツ・リ初は置かない) ② <u>作業終了後、区域を出る際は手洗いを行う</u> ③ <u>衣服が汚れる場合は、エプロン・ガウン等をつける</u> ④ <u>汚物、おう吐物の処理は手袋・マスク・エプロンをつける</u>

ゾーニング(区域管理)実践の工夫

- 区域毎に色分けしたテープを入り口や床に貼る。
- 区域の入り口、出口には注意事項を記載した掲示を行い、区域毎の注意事項を明確にする。
- 職員及び利用者に区域の利用について注意事項を説明する。



その場で区域分けや注意点を見ることが、感染対策を取りやすくなりますね。